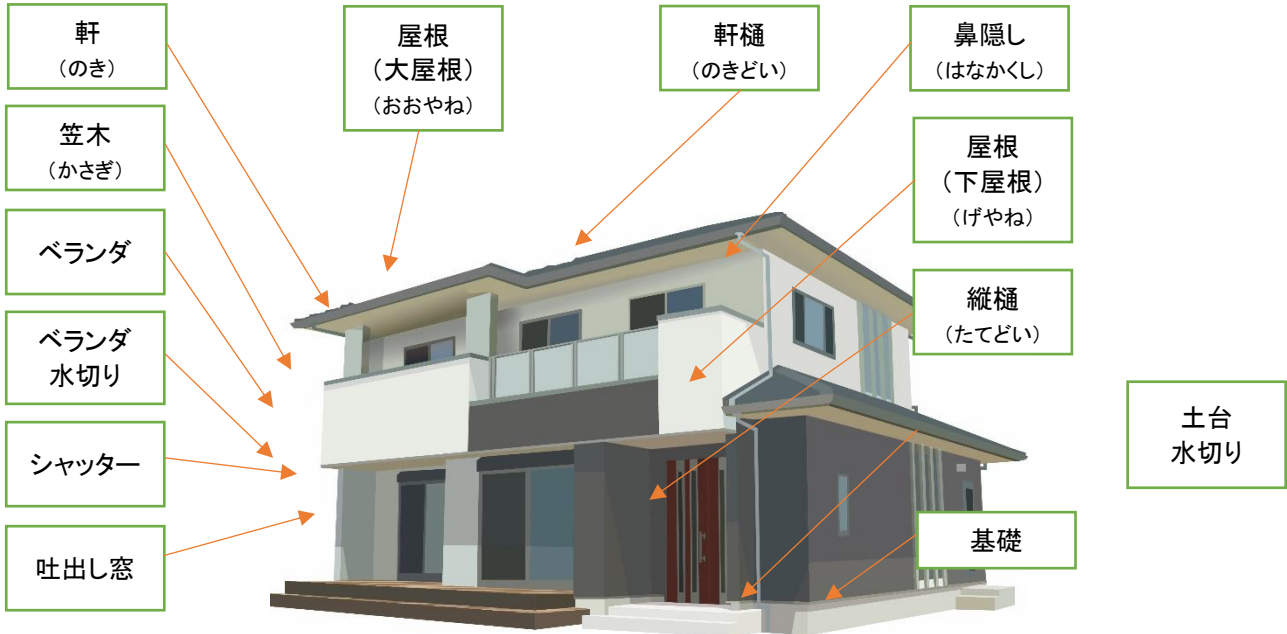


塗料の基礎知識 Vol.6

8. 建物の部位名称

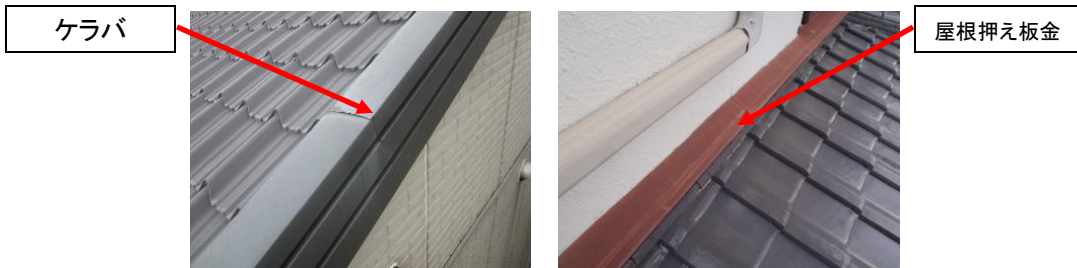
- ・建物の部位の中で、塗装を行う箇所を中心に名称を記載します。
- ・多くの部位は、建物の防水目的に設置されています。



- 大屋根** 屋根の中でメインとなる部分を指します。
- 下屋根** 母屋に差しかけて施工してある小さな屋根部分を指します。
- 屋根板金** 屋根材を押えている金属部材です。



ケラバ 屋根材の端の部分を目指す言葉です。
屋根押え板金 下屋の上端部で屋根材を押えている部材です。



破風・鼻隠し 屋根先端の側面を保護するために設置された部材です。
 水平方向(軒樋がある箇所)に設置されているものを、鼻隠しと言います。
 屋根の三角の部分(切妻部分)に設置されているものを、破風と言います。



軒(のき) 屋根が外壁よりも外側に出っ張っている部分を指します。
 外壁に雨や日光が当たることを防ぎます。
庇(ひさし) 窓や玄関などの開口部に付けられた、小さな屋根です。
霜よけ庇 窓サッシの上端部に取り付けられた小さな庇です。
換気フード 室内の空気を換気するための設備です。
 「換気ガラリ」と呼ぶこともあります。



軒天

特に軒部分の天井を軒天(軒天井)と言います。

上裏(あげうら)とも言いますが、上裏自体は、軒や庇、外階段の天井部分全てを指します。

軒天換気口

小屋裏に熱気や湿気がこもらないように取り付けられています。

軒先板金

軒天の端部に取り付けられた部材です。

軒天ランナー

軒天と外壁の取り合いに取り付けられた部材です。



幕板・胴差

幕板とは、1階と2階部分の境界に貼ってある細長い板です。

胴差とは2階部分の床を支える部材のことです。

通常、幕板の裏側に胴差があるので、塗装工事の際胴差の塗装＝幕板の塗装を指します。

笠木

ベランダや屋上壁・塀・手摺などの最上端に被せる部材です。

壁内部に水分が入り込むのを防ぎます。

笠木の有無は外壁面の汚染性に大きく影響します。



- 出窓** 外壁から張り出した状態で施工されている窓です。
- 雨戸** 窓部分の防犯や防風・遮光といった目的で設置されている部材です。
- 戸袋** 雨戸を収納しておく部材を戸袋といいます。



- シャッター** 最近の住宅は雨戸では無くシャッターが設置されている場合があります。窓部分以外にも設置されています(車庫等)。
※電動シャッターは、塗装出来ません。
- スラット** 上げたり下げたりする部分です。
スラットは基本的に塗装を行いません。
- 面格子** 「めんごうし」と読みます。
窓の屋外側に格子状の枠を取り付けて外部からの侵入を防ぎます。



雨樋

屋根から流れてきた雨水を受け止めて下水に流すための設備です。
水平方向の樋を横樋・軒樋、垂直方向の樋を縦樋・縦樋と言います。

基礎

建物の土台となる部分。一般的にコンクリートで作られています。
基礎表層に、モルタルや塗膜が意匠仕上として施工してある場合があります。



階段(鉄骨階段)の部位名称

・階段(鉄骨階段)の部位名称を記載します。

